

ふるさと「鹿沼市・日光市」の農業を次世代に繋ぐ！

農ある人生を 歩みませんか？



上都賀地域における就農相談先

◆鹿沼市経済部農政課

栃木県鹿沼市今宮町1688-1 TEL.0289-63-2191

◆日光市観光経済部農政課

栃木県日光市今市本町1 TEL.0288-21-5171

- 鹿沼市農業委員会 TEL.0289-63-2184
- 日光市農業委員会 TEL.0288-21-5173
- 公益財団法人鹿沼市農業公社 TEL.0289-63-5570
- 一般財団法人日光市農業公社 TEL.0288-22-7770
- 上都賀農業協同組合
宮農振興課 TEL.0289-77-5350
南部宮農経済センター
園芸特産課 TEL.0289-75-3821
米麦畜産課 TEL.0289-71-1125
日光宮農経済センター
園芸特産課 TEL.0288-22-1178
米麦畜産課 TEL.0288-22-1125
- 栃木県酪農業協同組合県南支所 TEL.0289-65-2181
- 酪農とちぎ農業協同組合宇都宮支所 TEL.028-676-1504
- 栃木県農業共済組合上都賀支所 TEL.0289-65-3251

◆栃木県上都賀農業振興事務所(経営普及部)

栃木県鹿沼市今宮町1664-1 TEL.0289-62-6125



ふるさと「鹿沼市・日光市」の農業を次世代に繋ぐ！

農ある人生を歩みませんか？

発行・編集 上都賀地方農業振興協議会
栃木県上都賀農業振興事務所

URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g52/index.html>

※有償・無償に関わらず無断転載を禁じます。令和5(2023)年9月発行

主な就農パターンと 相談方法

新規参入

農家出身ではない方が、
新たに農業経営を開始することです。

農業経営を開始するには、①農地、②技術、③資金が必要です。各種の就農支援策や研修制度、補助事業、融資等がありますが、それぞれの要件等に合わせて、時間をかけて準備する必要があります。まずは「**会社を辞める前**」に相談ください。



雇用就農

農業法人や大規模農家等に
雇用従業員として就職することです。

自分が農業経営をするのではなく、従業員やパート・アルバイトとして働く方法です。JAグループ栃木では、HPサイト「**栃木の農業で働こう**」で雇用就農者を募集しています。



半農半X

事業の一部として農業^{※1}に取り組み、農業以外の事業^{※2}を組み合わせたライフスタイルのことです。

(公財)栃木県農業振興公社では、農に関心がある移住希望者等のフリーストップ窓口を設置し、相談に対応しているほか、「**農ある暮らしアドバイザー**」の派遣を行っています。

※1 半農 / 事業の一部として農業に取り組むこと ※2 半X / 農業以外の事業のこと



上賀地域で
活き活きと農業に
取り組まれている方々を
ご紹介

Uターン就農

農家出身者が、他産業を
退職して自宅の農業経営に
参画することです。

目次

- 01 1 にはら(鹿沼市) 長沼 寿和さん、マミさん
人材育成+効率化で収益を上げる
自分なりのビジネスモデルを作りたい
- 02 2 いちご(日光市) 山川 聡さん、絢香さん
農業を楽しくいちごで笑顔に
- 03 3 トマト(鹿沼市) 福田 茂輝さん、結美さん
農業が大好き。食べることで一番大切。
- 04 4 花き(日光市) 飯島 太陽さん、翔子さん
いろいろな農業のかたちをつくりたい!
- 05 5 酪農(鹿沼市) 大門 正英さん、明日香さん
牛の居る暮らし、癒やしの空間です!!

農業は始め方や働き方も自分次第!

だから農業はおもしろい!

- 会社勤めをやめて、農業を始めようと考えている方(家族を含む)
- すぐではなくとも、将来的に就農を考えている方

栃木県上賀農業振興事務所就農支援担当の職員が相談にお答えします。日程と会場を確保して対応しますので、**相談を受けたい方は事前に連絡**ください。

はじめに

上賀地域(鹿沼市、日光市)における農業経営者の就農形態は、一旦会社等の他産業に勤めた後で就農するいわゆる「Uターン就農」が約7割を占めています。

本冊子では、今後、会社等を辞めて農業を始めたいと考えている方の参考にしていただくため、当地域で活き活きと農業に取り組まれている方々を紹介します。

また、農家出身ではない方が新たに農業経営を開始する「新規参入者」も就農者全体の2割を超えており、今後増えていくことと思われます。他にも農業法人等で従業員として働く「雇用就農者」も毎年数名います。

この冊子を読んでくださった皆様、農業に魅力を感じ、新たなチャレンジに向け、一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

農業を楽ししく、いちごで笑顔に

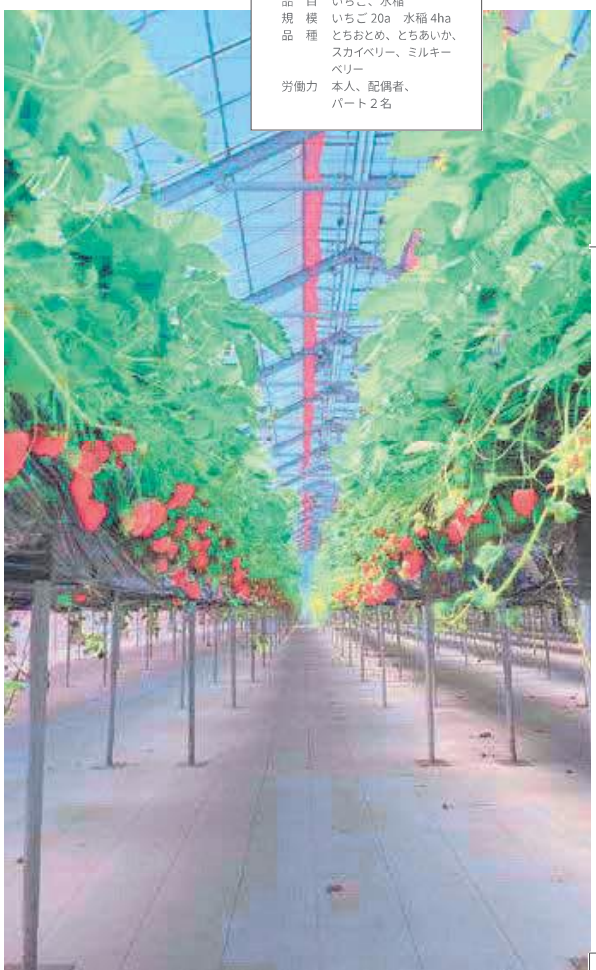
Product
いちご
(日光市)



山川 聡さん
絢香さん

| Data | |
|------|----------------------------|
| 品目 | いちご、水稲 |
| 規模 | いちご20a 水稲4ha |
| 品種 | とちおとめ、とちあいか、スカイベリー、ミルキーベリー |
| 労働力 | 本人、配偶者、パート2名 |

case
2



貯金0から脱サラ就農

聡さんは元々、農業以外の仕事に勤めていましたが、怪我により続けられず、実家の花卉・水稲の生産を手伝っていました。平成26年の大雪による雪害で花卉ハウスが被害を受けた際、再建時に父から品目転換を勧められ、いちご栽培を開始しました。ほぼ独学で栽培を始めたことも

あり、当初は慣れないバック詰り作業と、病害虫防除に苦労しました。1年目は一人で作業しており、夜遅くまでバック詰め作業に追われていました。絢香さんは、美容師の仕事をしていましたが、聡さんがバック詰りなどに苦労している姿を見て、2年目からいちご栽培を

手伝うようになりました。実際に農業をして、植物に触れたり、黙々と作業したりすることが性格に合っていたことがわかり、美容師を辞めて本格的に就農しました。いちごの多い繁忙期は臨時雇用も活用するようになり、今では夕方までにはバック詰め作業が終わるようになりました。

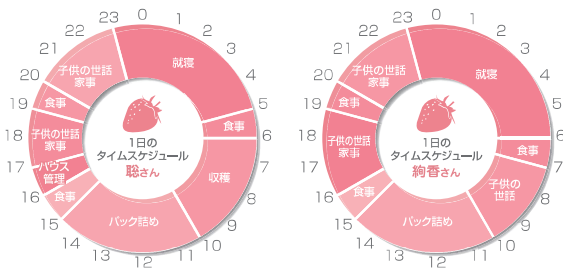
私たちの作ったいちごをもっと知ってほしい

山川いちご園を多くの方に知ってもらうために、インスタグラムを開設し、栽培管理作業や圃場の様子を1年間通じてこまめに投稿してPRを行ってきました。徐々にフォロワーが増え、問合せが多くなってきまし

た。また、お菓子屋さんやジェラート屋さんなどからも声がかかり、いちごを使ってもらえるようになりました。旅行情報サイトからの提案で、摘み取りいちご園も設け、集客に繋がっています。農業資材メーカーなどからモニター依頼があり、資材を試用しインスタグラムで紹介したこともあります。このように様々な方とネットワークができ、経営にも好影響が出ています。

設置し、細やかなハウス管理を行っています。農業に休みなし! いちごのシーズン中は、土日も年末年始も関係なく、約半年間毎日営業するので大変ですが、農業を始めてから子供や夫婦と一緒にいる時間が増えたと感じています。PRのおかげでお客さんと接する機会も増え、お客さんからいちごの味など良い評価を直接もらえることも、仕事のモチベーションアップに繋がっています。「山川いちご園のいちごを食べて、子供がいちごを好きになった」と聞いたときは、とても嬉しかったそうです。

勤めていた頃は与えられた仕事をとにかくこなす日々でしたが、自分が経営主となったことで、栽培管理や経営について自分で考えアクションを起こせるようになったことも農業の魅力、とのこと。いちご大好き、家族の夢 農業の楽しさや栃木のいちごの魅力をより多くの方に知ってもらえたら嬉しいです。現在4人の子供の育児をしながら農業をしています。子供に山川いちご園を継いでもらい、一緒に農業ができるようになることが大きな夢、とのこと。





3 **農業が大好き。**
食べることを一番大切。

就農のきっかけ

鹿沼市でトマト農家を営む福田さんご夫婦は、農業関連の会社で出会い職場結婚。結美さんは退職し育児をしながら、茂輝さんは会社員を続けながら、実家の農業を手伝っていました。茂輝さんも退職して実家を継ぐことになり、ご夫婦で就農しました。お子さんは3人。現在末のお子さんが高校生です。また、隣接する加工所「ル・

うこともしょっちゅうあるそうです。もともと植物や動物が大好きで、今はセキセイインコを5羽飼っています。仕事をしながらベットと一緒に居られることも、農業の魅力のひとつだと考えています。

経営面については、「本人の勉強する気があれば無限大の世界、知識は多岐に渡り必要になる」とご夫婦で日々勉強している。

Product
トマト
 (鹿沼市)

福田 茂輝さん
 結美さん

Data

| | | |
|-----|---------|------------|
| 品目 | トマト | 水稲 |
| 規模 | トマト 65a | 水稲 1ha |
| 労働力 | 本人、配偶者 | 両親、従業員 12名 |

「レフル」では、農園で穫れたトマトを使用し、トマトジャム、トマトジュース、ケチャップ、ソースなどを手がけており、贈り物としても大好評です。

自然の中、好きなことができる幸せ。

結美さんは、お日様の下、自然の中で四季の移ろいを感じながら仕事をできる農業が大好きで、時間を忘れて作業してしま

ます。しかし、好きなことなので、苦労だと感じていません。学んだことを生かして自分の判断でやりたいことができる、すごい職業だと話してくれます。

「二人」ではなく「みんな」で仕事を回す大切さ。

「仕事は、一人ではできません。一人が全力で頑張っているも、さらなる成長を目指すためには、他の従業員もできる仕事にしていく必要があります。一人の力は有限ですから」と語ります。教えることに時間がかかる仕事、難しい仕事、お客様への商品発送などミスの許されない仕事もあるためです。でも、いつまでも経営者だけで抱え込んで、「他の人には任せない」という考えでは仕事は回りません。パートナーを中心に、従業員の方々が本当に頑張ってくれているので、さらに任せていけるように、人材育成に取り組みたいとのこと。今後は、結美さんがやっている



る出荷選果（商品発送業務）や加工所の作業も他の従業員に引き継いでいきたいと考えています。

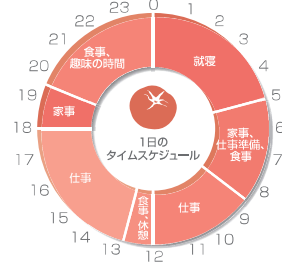
農業って素敵な職業！

いずれは法人化して、さらに就労環境を整えて、従業員が働いて良かった、丸福農園の仕事は楽しいな」と思ってもらえるように経営改善していく目標があります。そして、農業という職業が、今よりさらに「良い職業だよね！」と思われるように、これからも頑張るそうです。

お二人にとって、「農業はとても楽しく大好きな職業です。食べることは生きていく上で一番大切です、おいしいものを

食べるって幸せなことだな」といつも感じています。「農業は食、べ物を作る仕事なので、たくさんの人においしいトマトを届けて喜んでもらいたい」と目を細めます。

大好きな農業について終始笑顔で話してくれた福田さんご夫婦でした。





いろいろな農業の かたちをつくりたい！

case
4

花の栽培に魅了されて・・・

農家の父親の背中を見て育った太陽さん。いずれは農業を継ぐつもりでした。大学進学が就農か。「4年間好きなことをやらせてくれた父母に感謝です」と話す太陽さんは、大学で経営を選択、その後就

農しました。稲、麦、大豆を中心にデルフィニウムの複合経営をしていた父親の元で栽培を学ぶうち、花きに魅力を感じた太陽さんは、花き生産を担当するようになりました。今ではデルフィニウムを始め、ひまわり、ダリアなど多くの品目を栽培しています。

趣味のバンドで知り合ったという妻の翔子さん。親戚が農家だったこともあり、結婚を機に退職した後はフルタイムで農業に従事、主に直売イベントや労務管理等を担当しています。



Product 花き

(日光市)



飯島 太陽さん 翔子さん

Data

品目 花き ナス 水稲 麦 大豆
規模 デルフィニウム44a、ひまわり30a、ダリア10a、プレリウム30a、アスター50a、ケイトウ80a、ナス10a、水稲4ha、麦2ha、大豆2ha他
労働力 本人、配偶者、社員2名、常勤雇用25名、非常勤2名

経営者として

令和3年に株式会社日光園藝を設立しました。多くの従業員を抱える太陽さんと翔子さんは、雇用の安定化のため、生産販売に加えて、花きの購入販売も行っています。仕入れる側になることで学べることもたくさんあり、それをまた自分たちの経営に還元しています。

経営者であり、かつ子供3人の父母でもあります。営業や仕

入れて帰りが遅くなることもあります。ですが、早めに仕事を切り上げたり、仕事の合間に育児をしたり、家族で過ごす時間が増えるよう心がけています。

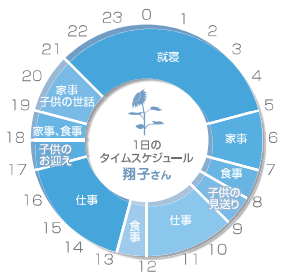
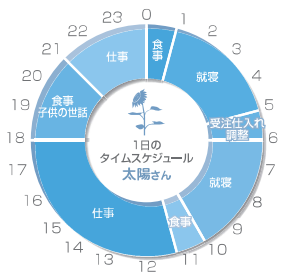
概念にとらわれない 農業スタイルを目指して

「好きなことを農業につなげて最大限に活かす」と語る太陽さんは、稼げる農業のかたちを作りたいと話します。情報収集

好きなこと×農業

農業の魅力は「やはり面白いですかね」と語る太陽さん。仕事に取り組む姿勢にこだわり、生活スタイルに農業を合わせて、翔子さんと社員、従業員全員で楽しく仕事をしています。作り手でありながら消費者側の立場に立つことを忘れません。求められるものは何か。常に考える姿勢に仕事に対する情熱を感じました。

「やりたいことはたくさん。あと何年あるかと考えると時間が足りないですね」その笑顔は名前と同じ太陽のように明るく輝いています。





悪くなった時も、自分で子供を病院に連れて行けたというのは良かった。子育ての時期に農家へ仕事に行くのも良いと思います」と語ります。明日香さん自身も、子供が幼稚園に行っているときに大根農家さんで仕事をしていた、その頃も子供のために何回も都合をつけてもらい、本当に助かったと感じています。

また、お二人とも旅行が好きで、コロナ前は、宿泊の旅行などもしていました。月1回はヘルパー※を活用して搾乳作業

めていたときも、休日は牛を見るために牛舎へ入っていたそうです。月曜から金曜に仕事へ行って疲れているはずなのに、土日に牛舎で搾乳が終わると笑顔になっていたようです。また、大学生の頃も近所に牛を見に行っ、癒やされていたそうです。

明日香さんが「牛の目がやさしいんですよ。お目々がクリクリで、まつげが長くて、ゆったりしている。牛は人の言っていることもわかるんでかわいいです」と語ると、正英さんも「小さい頃から牛を見ているせいかもしませんが、成長する子供を見ている感じです。また、牛が居るのが普通で、居ないと落ち着かない。私がかわいがる動物は牛だけで、犬や猫はあまり好きではありません」と話していました。

将来の夢

「生涯現役です。私たちと一緒に食と農を守りましょう」
お二人とも、インタビュウの間、終始、笑顔が絶えませんでした。

我が家のチャレンジ

就農に合わせて、餌のやり方も変えて、繁殖成績も良くなり、さらに和牛の肥育素牛の生産を開始しました。先日、初めて矢板家畜市場に出荷したそうです。

をしてもらい、休みをとることもできるそうです。

（※牛は毎日の給餌や搾乳等が必要であるため、作業を代行する制度）

最近では、お台場まで買物で遠出をしたそうです。朝早めに作業をして、夕方の餌やりを遅らせることで、プライベートの時間も確保できています。

牛の居る暮らし、癒やしの空間です!!

case 5



就農のきっかけ

正英さんはサラリーマン時代、息子が農作業をしている正英さんの父を見て「かっこいい」と言う一方、自分が会社で働いている姿を知らなかったため、息子にかっこいい自分の姿を見せ

たい！と就農しました。昔から酪農をやっていたということも

あり、会社員を辞められることが嬉しくて、毎月の給料がなくなるという不安は全く感じませんでした。通勤する時間が無くなり、人間関係からも解放され

Product 酪農 (鹿沼市)



大門 正英さん
明日香さん

Data

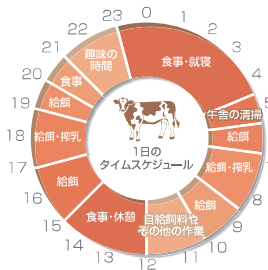
品 目 酪農
規 模 経産牛65頭
育成牛35頭
合計100頭
労働力 本人、配偶者、両親

いろんな縛りがなくなりました。逆に、「稼いでやる」としか考えていませんでした。自分でやりたいように出来るということもありました。

明日香さんは、自分からやりたいと話したことはありませんでしたが、子供が小学校に上がった段階で、義祖母から誘われて就農しました。

農業や酪農の魅力

明日香さんは、「農業は、時間の都合を付けやすく、授業参観などの日中の学校行事にも参加できて、子供の具合が



就農支援策等

(それぞれ要件等がありますので、詳しくはお問合せ願います。)

認定新規就農者制度

新たに農業経営を営もうとする青年等が市町の基本構想に示された目標に向けて農業経営の基礎を確立しようとする青年等就農計画を市町が認定し、これらの認定を受けた「認定新規就農者」に対して無利子資金の貸付け等の支援措置を重点的に講じようとするものです。

新規就農者育成総合対策

農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、経営発展のための機械・施設等の導入を支援するとともに、就農に向けた研修資金、経営開始資金の交付等、取組を支援します。

◆就農準備資金

栃木県が認める研修機関(県農業大学校や鹿沼市・日光市の研修制度等)で研修を行う就農希望者で、一定の要件を満たす方に、最長2年間、原則、最大150万円/年を交付します。

◆経営開始資金

一定の要件を満たす「認定新規就農者」に、農業経営を開始してから最長3年間、原則、最大150万円/年を交付します。

◆経営発展支援事業

一定の要件を満たす「認定新規就農者」に、就農後の経営発展のために、機械・施設等を導入する場合、補助率3/4以内で支援します。補助対象事業費上限1,000万円(経営開始資金対象者は500万円)

青年等就農資金

認定新規就農者を対象とした無利子の資金(償還期限17年以内(据置5年以内)、貸付限度額3,700万円)です。経営を開始するために必要な施設・機械の取得費用や運転資金等として活用できます。

各種補助事業

農業振興や生産拡大等の目的に応じた国・県・市・農協等による各種補助事業(ソフト・ハード)があります。

主な研修制度

※鹿沼市・日光市では栽培体験会も実施しています!

◆鹿沼市いちご・にら研修制度

いちごは出会いの森いちご園で2年間(1年目は「とちおとめ」「とちあいか」「とちひめ」など複数品種のいちご栽培、2年目は自分の研修用ハウスを管理した実践研修)、にらは市内の研修受入農家及びとちぎ農業未来塾で1年間の実習となります。

◆日光市にら・いちご研修制度

にら・いちごともに、市内の研修受入農家及びとちぎ農業未来塾で1年間の実習となります。

◆とちぎ農業未来塾

栃木県が宇都宮市上籠谷町で運営している就農準備校です。研修期間(日数)や研修内容、作物に応じた複数のコースがあります。

就農関連情報紹介

栃木県の研修制度や就農支援情報がわかる!

栃木県就農支援 **tochino(トチノ)**

<https://tochi-no.jp/>



栃木県内の農業求人情報サイトです!



JAグループ栃木 **とちぎの農業で働こう!**

<https://entori.jp/tcchu-ja>

とちぎ農業経営・就農支援センターの専属スタッフが対応!

(公財)栃木県農業振興公社 **とちぎで農業を始めよう**

<http://www.tochigi-agri.or.jp/shunosoudan/index.html>



移住支援
サイトはコチラ

鹿沼市
ジブンススタイル
かぬま



日光市
日光で暮らす

